

平成 28 年度 ケアホーム青い鳥事業報告

1. サービス事業について (3 月末日現在)

(1) 登録者数及び現員数

ユニット名 (定員)	現員合計	男性	女性
ちいハウス (4 名)	4 名	0 名	4 名
さつき (5 名)	5 名	0 名	5 名
みずき (5 名)	5 名	0 名	5 名
さくら (5 名)	5 名	5 名	0 名
こぶし (5 名)	5 名	5 名	0 名

※支援区分 3/1 名、支援区分 4/4 名、支援区分 5/11 名、支援区分 6/8 名

※支援区分平均値 5.1 (前年度平均値 4.92)

※支援区分変更：支援区分 3→4/1 名、支援区分 3→5/1 名、支援区分 5→6/1 名

(2) 利用者人数

24 名 (男性 10 名 女性 14 名)

平均年齢 39.4 歳 (男性 36.8 歳 女性 41.3 歳)

※前年度平均年齢 38.4 歳 (男性 35.8 歳 女性 40.3 歳)

(3) 平成 28 年度 入退所者状況

入所者 0 名 退所者 0 名

※ユニット移動/さつき利用者 1 名⇔みずき利用者 1 名

(4) 職員体制

職種	常勤(9 名)	非常勤(35 名)
管理者	1 名(兼務)	—
サービス管理責任者	1 名(兼務)	—
世話人	6 名(専従 2 名、兼務 4 名)	—
生活支援員	2 名(専従 1 名、兼務 1 名)	28 名(専従 7 名、兼務 21 名)
夜間支援員	7 名(兼務)	28 名(専従 7 名、兼務 21 名)

※世話人配置体制Ⅱ型(5 : 1)の配置基準 4.8 名(常勤換算)に対し 5.2 名(常勤換算)

※利用者支援区分から生活支援員の配置基準 6.38 名(常勤換算)に対し 8.4 名(常勤換算)

2. 事業活動実績

(1) 余暇活動支援

青年学級参加 (3 名)、GW 休暇旅行 (6 名)、ガイドヘルパー利用 (6 名)

(2) 余暇活動提供

『休日プログラム』

ユニット間の交流の機会・週末の過ごし方の選択肢・家族のレスパイト機会の提供を目的に実施。

4月29日「第1回休日プログラム」実施 参加者8名

(西平山さつき・みずき棟にて昼食&カラオケ&ゲーム、外出)

11月3日(木)「第2回休日プログラム」実施 参加者14名

(各ユニット単位で休日の過ごしを提供)

(3) 家族・地域交流

『ファミリーデー』

ご利用者のご家族、関係者をお招きして日常生活の一端をご覧いただく。ケアホームと各ご家族との個別の関係だけではなく、全ご利用者・ご家族・職員・関係者が出会い、大きな輪となる機会を提供する。

5月25日：さくら・こぶし・さつき・みずき 17時30分～18時30分

5月27日：ちいハウス 18時～19時

10月5日：さくら・こぶし・さつき・みずき 17時30分～18時30分

(4) 家族会関係

家族会（合同3回、ユニット別1回）、個別面談（2回）

あおいとり日野家族会（5回）

(5) 会議など

週末ミーティング(毎週金曜日)、世話人会議(12回)、棟&ユニットミーティング(各3回) 管理者会議(12回)、運営委員会(12回)

(6) 職員研修

内部研修（毎月：支援目標を書面で伝達、随時：ヒヤリはっと事例の共有）

外部研修（随時：研修毎に案内を掲示し希望職員が受講）

(7) 苦情解決

利用者等からの苦情の適切な解決に努めるため、ポスターの掲示や責任者及び受付担当者、第三者委員の氏名・連絡先などの紹介を心掛けた。

(8) 安全・防災

安全対策強化のため警備会社を招き安全対策の検証を実施。11月1日より、静脈認証式電子錠による24時間施錠を導入。避難訓練（年12回）、隔月で地震想定6回、火災想定6回実施。管理者会議にて防災会議を実施。

(9) その他

親の会との連携。親の会総会に出席（1回）

## 《平成 28 年度振り返り》

### \*利用者状況について

利用者の入退所者は発生せず、利用状況の変化はないが、より適正なメンバー編成になるよう 1 部利用者間でユニットの入れ替えを行い、新たなユニットで安定した生活が送れるよう支援を行った（さつき利用者 1 名⇔みずき利用者 1 名）。

### \*職員体制について

例年通りパートタイムの非常勤職員の入退職はあったが、期首時点の人員規模は保たれており、概ね安定した職員体制でサービスを提供することができていた。常勤職員については、特に女性職員の世代交代が課題となっており、今後も職員体制の充実に向けた取り組みが必要である。また、重度の利用者への対応が必須であることから、継続的に研修や勉強会の機会を設け、積極的に参加できる環境作りに取り組み、支援の質の充実と向上を図っていききたい。

### \*余暇活動について

週末利用者の青年学級参加による余暇活動支援、休日プログラムの実施や長期休暇中に帰宅出来ない利用者を対象とした旅行も例年通りに実施できている。また、週末利用者の個別的なニーズに応えていくためにガイドヘルパーの活用を進めてきたが、ケアホーム青い鳥として移動支援事業の指定を受け、サービスを提供する環境を整えることができたので、今後さらなる充実を目指して事業を展開していきたい。

### \*家族・地域交流について

ファミリーデーを実施し、利用者のご家族、あおいとり日野やはくちょう職員など関係者との交流を深めることができた。今後も利用者の健康・安心で楽しみ溢れる生活実現のためにご家族や日中支援事業所との連携に努めたい。尚、10 月に実施したファミリーデーについては、参加者が少なく時節や時間帯などについてのご意見も頂いており、次年度以降の課題となった。

### \*家族会関係について

今年度よりユニット別での家族会を実施し、個別と全体の間にあたる規模の新たな形での情報交換の機会を作ることでご家族との交流を深めることができた。今後は非常勤の支援員にも参加を促し、ご家族と職員の信頼関係を高めていきたい。

### \*会議などについて

あおいとり日野との連携や情報共有について見直しを行い、次年度よりあおいとり日野の合同職員会議に参加し、新たな情報交換の機会を設けて連携の強化を図っていく。

### \*防犯等安全対策について

神奈川県相模原市の障害者支援施設で発生した殺傷事件を受けて、施設・職員・設備面での対応、警備会社・警察等関係機関との連携等について改めて確認を行い、安全対策の見直しを行った。また、静脈認証式電子錠を導入し 24 時間施錠の環境を整えた。

\*平成 28 年度 移動支援事業報告

(1) 登録者 4 名 (支援区分 3/1 名、区分 4/1 名、区分 5/1 名、区分 6/1 名)  
(支援区分平均値 4.5)

日中利用先 あおいとり日野 : 4 名

(2) 利用実績

月	利用人数	利用日数	利用時間
9 月	3 名	4 日	9 h
10 月	3 名	5 日	10 h
11 月	3 名	3 日	11.5 h
12 月	2 名	3 日	3 h
1 月	1 名	5 日	9 h
2 月	1 名	4 日	10 h
3 月	2 名	7 日	9 h
合計	15 名	31 日	61.5 h

週末利用者を対象に常勤職員の兼務という人員体制で事業を開始し、初年度実績として登録者 8 名、利用日数 51 日、利用時間 360h を目標としたが達成することができなかった。次年度以降は、人員体制の整備や事業展開の見直しを図り、利用拡大を目指していきたい。